

# 「教育の質的転換」について考える



日時：2013年9月27日（金）13:30～16:00

会場：3310 演習室（会議室）

対象：教務部教務課の各学部担当係長職

昨年8月、中央教育審議会は「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」と題する答申を出しました。ここでは、大学改革に対する社会からの期待の高まりを踏まえ、学士課程教育の質的転換を図るためには「学生の学修時間の増加・確保を始点として、学生の主体的な学びを確立することが必要だ」と主張しています。また、教育の質的転換の具体的方策として「アクティブ・ラーニング」を例示しています。その教育スタイルとは、「個々の学生の認知的、倫理的、社会的能力を引き出し、それを鍛えるディスカッションやディベートといった双方向の講義、演習、実験、実習や実技等」を指すようです。

今回の教務係長研修では、「学修時間の増加・確保」や「アクティブ・ラーニング」という言葉の背景にあるもの、例えば、審議会の問題意識などについて考えてみます。その上で、この答申の提言のうち、特に「大学において速やかに取り組むことが求められる事項」について理解を深めたいと考えます。そして、本学の現状を概観し、教務係長としてどのような課題に取り組まなければならないのか、考えてみたいと思います。

## プログラム概要：

- 13:30～14:30 報告（副学長・教務部長）、質疑応答・討議
  - ・中教審答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」
- 14:30～15:30 報告（各係長）、質疑応答・討議
  - ・教育の質的転換に関する本学の取組状況
- 15:30～16:00 自由討議

## 獲得目標：

- ・中教審答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」が提言する「今後の具体的な改革方策」のうち、大学において速やかに取り組むことが求められる事項を理解する
- ・本学における「教育の質的転換」の現状を把握し、取り組むべき課題について認識を深める

## 事前準備：

- ・答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」の本文（全26ページ）を事前に読んで下さい。
- ・先に提出した「2013年度版自己点検・評価報告書」のうち、「5. 教育方法」を抜き出し、研修会資料として10部用意して下さい。研修会では、この資料にもとづき、「教育の質的転換」に向けて係長として考えること（例えば、取り組まなければならないこと・取り組んでいること、あるいは実現のために解決すべき課題など）を報告していただきます（1学部につき10分～15分程度）。

## 参考情報（昨年8月の中央教育審議会答申へのリンク）：

本学FDセンターのホームページ、その左メニュー「参考リンク」に文部科学省が発信する審議会答申等へのリンクが掲載されています。

☞ google や yahoo で「SGU FD」というキーワードを入れて検索すると、FDセンターのページにたどりつけます。